



前に生徒が詰めかけ一気に盛り上がるステージ  
11日、平塚市東中原の大野中学校

# 手を知って活躍を

## 生徒の反応励みに

ダンスに手話を取り入れたパフォーマンスで知られる4人グループ「HAND SIGN」(ハンドサイン)が、県内の中学校で展開してきた「50校公演」が8日、平塚市立大野中学校(同市東中原1丁目)で達成した。「これから社会で活躍する若者に、手話という一つの言語を知ってもらいたい」と始めてから2年余り。リーダーのTATSUこと中野達朗さんは「もう51校目が決まっている。切りよく100校を目指したい」と思いを新たにしていた。(田崎 基)

この日、大野中の体育館は熱狂に包まれた。コントが披露された前半は冷やかな失笑が漏れるも、後半は一転。米ニューヨークでも高く評価された本格的なダンスが始まると、一気にボルテージが高まった。終盤、席を立った生徒たちがステージ前へ詰めかけると会場は一体感で包まれ、ダンスと重低音響く音楽に身を重ねていった。

ハンドサインは2005年に平塚市を拠点に結成。09〜10年にニューヨークにある世界屈指の舞台「アポロシアター」で2度の優勝、7度の入賞を果たし、同舞台から「公認パフォーマンス」の認定を受けた。13年4月にはNHK・Eテレ「みんなの手話」にレギュラー出演。今年はフジテレビ「みんなのニュース」で毎週木曜日に出演している。TATSUさんは「最初は生徒

## 「ハンドサイン」50校公演達成

徒の反応を確かめるようにやっていった。1校決まり、見てもらってまた1校。一つ一つ丁寧にやっていった結果が50校になって本当にうれしい」と話す。生徒たちからのアンケート結果にも勇気づけられた。「手話なんて眠くなりそうと思ったけど、実際見たら体を動かして楽しかったという生徒も少なくない。それが僕らの一番やりたいこと。まず知って、一つでも覚えて、興味をもってもらいたい」この日も、汗だくになり600人余りの全校生徒に向け思いを伝えた。

1年生の阿藤耀太郎君(13)は「ダンスとリズムに手話を合わせられるなんてびっくり。『ありがとう』『うれしい』『楽しい』という手話も覚えた。興味がわいた」と話していた。

ハンドサインは公私立を問わず県内中学校の公演依頼を募集する。問い合わせは事務所 ☎0463(74)4621。

▶動画はウェブサイトに「カナロコ」に